

佐渡米通信

こめ〜る

2019年 03月号

発行日:2019年3月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部米穀販売課 山田・藤巻
Jasadoeinoubu20@dune.one.ne.jp

佐渡産コシヒカリ14年連続「特A」評価

日本穀物検定協会主催の「2018年食味ランキング」で、今年も佐渡産コシヒカリが「特A」評価を頂きました。佐渡産コシヒカリが特A評価を受けるのは、平成に入ってから14年連続、述べ26回目になります。昨年は水不足や台風などの天候に左右された年でしたが、生産者の徹底した水管理や丁寧な作業により、特Aの評価を受けることができました。



佐渡米生産者大会が行われました

3月2日に、「佐渡米生産者大会」が開催され、会場には農家・関係者あわせて約300名が参加しました。大会では、土づくりや今春のおすすめ資材の他、GAP(農業生産工程管理)導入による経営改善の提案や世界遺産とジオパークの連携について講演が行われました。また、JA職員による決意表明が行われ、2019年の米づくりに向けて、決意を高めました。



◀今日の会場の様子

朱鷺と暮らす郷づくり推進フォーラム 佐渡の生物多様性と命の循環

2月23日に、「朱鷺と暮らす郷づくり 推進フォーラム」があいぼーと佐渡で行われました。当日は農業ジャーナリストの「小谷あゆみ」さんが「佐渡の農業、命の循環の物語」という演題の基調講演が行われ、参加者は農業による生物の多様性や命の循環の大切さを確認し合いました。また、フォーラムの会場の外では竹細工や佐渡の伝統的なお菓子作りが「佐渡めぐり塾番外編」として親子向けに同時開催されました。



※佐渡めぐり塾は、身近にある自然や島の暮らしに息づくGIAHS(世界農業遺産)について、楽しみながら学べる体験プログラムです。



2019年田んぼアートが、「けものフレンズ」とコラボすることが発表されました。田んぼアートのデザインには、「けものフレンズ」に出てくる「トキ」のフレンズが使用される予定です。詳細のデザインが発表されましたら、Facebookのたんぼにつきなどで情報発信致します。

※『けものフレンズ』は、超巨大総合動物園「ジャパリパーク」を舞台に、神秘の物質「サンドスター」の影響で動物からヒトの姿へと変身したフレンズたちが大冒険を繰り広げる物語。ゲーム、コミック、アニメ、舞台、動物園コラボを展開するなどさまざまなプロジェクトが進行中。「動物愛が感じられる」と若者を中心に人気があります。



©けものフレンズプロジェクト

▲「トキ」のフレンズ

